

校訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう

学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



薫陶

学校だより くんとう
特別号 令和6年9月17日
七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小 HP QR コード

令和6年度前期学校評価結果のお知らせ

秋涼の候、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
今回の特別号では、1学期末に実施した保護者アンケートの結果をお知らせします。9月5日（木）に、前期学校評価アンケート結果を資料として学校評議委員会を開催し、評議委員の方々からご意見をいただきました。これらの結果とご意見を合わせ、今後の学校活動の改善に生かして参りますので、引き続きご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。アンケート回答等のご協力、ありがとうございました。

（数字は%：小数第1位の概数で表しているの、合計100%にはならない項目があります。）

1 主体的に学び合う子の育成		A	B	A+B	C	D	R5 後期 A+B
教職員①	帯タイムや補充学習、合格テストを通して、基礎学力を身につけさせるための指導を個に応じて行っている。	66.7	33.3	100	0 <small>(分らない5.3)</small>	0	100
	学期末テスト(国語は裏のみ・算数は裏表)の各学級平均点が全国平均を上回った割合	全国の平均点と比較して(全校12学級) (前期)国語 9/12学級 算数 5/12学級					
児童⑧	授業で、聞き方名人・話し方名人・反応名人ができています。	35.0	55.2	90.2	8.0	1.7	84
教職員②	学級の児童が聞き方名人・話し方名人・反応名人になるように十分指導している。	50.0	50.0	100	0 <small>(分らない5.3)</small>	0	100
児童⑨	授業では、「学びの木」を使って自分で学び方を選んでいく。	72.0	23.8	95.8	2.8	1.4	新
教職員③	学校研究の重点「児童が主体的に自分に合った学習方法等の選択」をするために、日頃から意識して授業に取り組んでいる。	77.8	22.2	100	0	0	新
教職員④	児童に用語やキーワードを使って書きさせたり、線丸したりする指導をしている。	61.1	38.9	100	0	0	100
	各学級における検証問題(国語・算数)を条件に沿って解答している児童の割合。	全ての条件を満たして正答している児童が 国語 50% 算数 39% 平均 44%					

<□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて>

□教職員は、帯タイムや補充タイム、合格テストに取り組む際、基礎学力を身に付けさせるための時間であることを十分意識して実施しています。学期末テストの結果、国語は12学級中9学級が、算数は12学級中5学級が全国平均を上回っていました。

◎算数の基礎基本の定着に課題があることが分かりました。そこで、ミニテストや単元末テストの直しを全員に徹底させていきます。また、学期末テスト実施前には、学級や個人としての定着度やつまずき状況を把握し、強化が必要な単元については弱点克服のためにどのような取組を行うか、内容を学年で共有し、十分な復習を行ってからテストを実施します。朝や放課後(級外の協力も得ながら)の時間や、テストやプリントなどの課題を終えた後の隙間時間を有効に使って、個別支援をさらに進めていきます。

□授業の中で「聞く・話す・反応する」ことにおいては、児童・教職員ともに、肯定的評価をしている人が多いことが分かりました。また、児童は、「学びの木」を意識して使い、自分の学び方を選択し、教職員も今年度の研究の重点を意識して取り組んでいます。

◎「聞く・話す」といった学習規律を児童が身に付けるために、日々の授業の中での指導を工夫していきます。学習規律の徹底のための具体的な方策について、学年会を活用して話し合う機会をもち、教職員が意識して指導できるようにします。

□検証問題の結果から、用語やキーワードを使って書こうとしたり線丸を引いて考えたりする意識は身に付いてきていますが、条件を満たして書く力が十分ではないことが分かりました。

◎条件に合わせて書くことに慣れるために、普段の授業でまとめを書く際に授業の中でキーワードを入れたり文字数や行数を指定して書いたり条件を付けて書くように指導します。

2 自ら考え 健康・安全な生活を送ろうとする児童の育成		A	B	A+B	C	D	R5 後期 A+B
児童⑩	自分で決めた就寝・起床時間を守っている。	52.1	42.0	94.1	4.5	1.4	89
保護者⑧	子供の起床時間・就寝時間が守れるように努めている。	45.1	50.0	95.1	4.2 (分からない0.3)	0.3	86

□児童が自分で規則正しい生活を送るための判断力を身に付けるとともに、保護者の皆様にも基本的な生活習慣を身に付けることのよさについて啓蒙していくことが必要だと考えられます。

◎児童の保健委員会と連携して、自分の日々の生活習慣を振り返ることができるチェックカードを定期的に用意していきます。また、2学期の児童の様子を鑑みながら、3学期のすくすく集会では、健康的な生活を送ることのよさについて児童・保護者ともに啓発していきます。

3 自他の違いを認め合い お互いを尊重し合う子の育成		A	B	A+B	C	D	R5 後期 A+B
児童⑪	いつでも、どこでも、だれにでも すすんであいさつをしている。	61.2	33.9	61	3.8	1.0	93
保護者⑨	子どもに、時と場に応じたあいさつを指導している。	48.6	45.5	94.1	3.5 (分からない1.7)	0.7	99
児童⑦	いじめはどんな理由があってもいけないと思う。	98.3	1.7	98.3	0	0	100
保護者⑥	学校は、いじめの未然防止や早期発見のための取組を伝えている。	28.7	57.7	86.4	8.4 (分からない4.5)	0.7	93
教職員⑥	学校は、組織的にいじめ・不登校の未然防止と適切な対応をしている。	94.7	5.3	100	0	0	100
教職員⑦	配慮が必要な児童の様子について、情報を記録・共有し、活用を図っている。	84.2	15.8	100	0	0	100
教職員⑧	登校に渋りを感じている児童や教室になかなか入れない児童に対して、ケース会議や保護者面談、校内特別支援会議などを活性化し、組織的な対応を行っている。	84.2	15.8	100	0	0	新

□全体的にはあいさつできていると感じているものの、より日常的にあいさつしようとする意識や習慣を身に付けさせていく必要がある。

□いじめは絶対に許されないものであるという意識は昨年度より継続して高い状態にあります。一方で、否定的な評価をした児童も見られました。保護者・教職員ともにいじめに対する取組は適切と感じていますが、更に継続して意識化できるように取組を発信していく必要があります。

□月1回のほっとタイムにおいて、不登校児童の情報共有や支援策について話し合うことで、担任だけでなくチームとして対応するという意識が高まっていることが分かりました。

◎9月の生活目標を「進んであいさつしよう」として重点化し、児童会主体の取組を行うことであいさつの意識化・習慣化を図り、縦割り班でのあいさつ運動を実施し、全校が主体となってあいさつする機会を設けます。また、生徒指導便りやHP等を活用して、積極的にあいさつしている児童の姿を紹介し、地域や家庭を巻き込んだ取組となるようにしていきます。

◎児童のいじめ防止に対する意識が高まるようにします。否定的な評価をした児童については、個別に面談を行い、いじめ防止に対する正しい理解を身に付けさせていきます。児童同士の関わり方がよりよいものになるようにソーシャルスキルトレーニングなどの取組を設けたり、考え方や言葉づかいについての「リフレーミング」の仕方を紹介したりしていきます。また、職員のスキルアップを目指し、各クラスでの「生徒指導の視点」を生かした取組を紹介し合い、より効果的なものとなるようにしていきます。

◎今後も、実際に児童の対応にあたる職員、担任、SSR担当が連携し、児童の状況に柔軟に対応できるようにします。

4 自己決定し チャレンジする力の育成		A	B	A+B	C	D	R5 後期 A+B
児童⑫	クラスや学校にとってよいと思うことを、自ら進んで行っている。	55.9	35.7	91.6	7.0	1.4	90
教職員⑨	行事などの活動では、個々に目標をもたせ、活動後にはふり返りの際に、学校や学級のために頑張っている児童を価値付け広めている。	84.2	15.8	100	0	0	100
教職員⑩	1校1プランやスポチャレ、げんきっず委員会の取り組みなどに積極的に参加させ、運動能力の向上に努めている。	50.0	43.8	93.8	6.3	0	新

□児童のよい姿は各クラスや学年で共有されています。全校集会で毎月、校長が手本となる児童の行動（あいさつ・掃除・友達への接し方など）を紹介しており、よいことをしたいという思いをもって行動できる児童が増えてきています。

□1校1プランでの取組を毎週水曜日のげんきっずで意識して行っています。げんきっず委員会のイベントでも投の運動を行い、運動能力の向上に努めました。

◎児童のよい姿を共有したり価値付けをしたりします。2学期は大きな行事が多いので、行事ごとに目的やめあてを設定し、振り返りを行います。教職員に周知徹底できるようにしたり、体育の授業で行っている素地づくりの運動を共有する時間を設けたりします。

5 学習場面に応じた 1人1台端末の効果的活用		A	B	A+B	C	D	R5 後期 A+B
児童⑬	授業の中で、タブレットを使うことで「分かりやすいな」と感じていますか。	71.3	25.2	96.5	2.8	0.7	新
教職員⑪	授業中に、児童にオクリンク・写真・動画撮影・スライド・Googleフォーム等のアプリを使わせて授業していますか。	66.7	33.3	100	0	0	100
教職員⑫	児童がタブレット端末を有効的に活用した授業を行っている。	33.3	66.7	100	0	0	94

□教職員は、授業の中で教科の特質やねらいに合った方法でタブレット型端末を活用しようとして意識していることが分かりました。また、児童もタブレット型端末を活用するよさを感じながら使っていることが分かりました。しかし、タブレット型端末を活用するよさを理解できていない児童もいるため、さらによりよい活用法について考えていく必要があります。

◎タブレットを効果的に授業で活用することができるようにするために、教職員間で実践交流会を設けたり、確実にタブレットを使える場所を確保したりしていきます。

<自由記述より>（個別に対応させていただいたものもあります。一部ご紹介いたします。）

温かいコメントをたくさん頂き、ありがとうございます。これからは職員一丸となり、頑張っていきます。

- ・息子の話を聞くと1年生の学年みんなが仲良しな雰囲気伝わります。少しトラブルもあるのかな？と思いながらも、「仲直りした。」と話をしてくれるので安心します。6年生にもお世話になっているみたいで、かわいがってもらえてありがたいです。他にも色々な経験をさせてもらえて、とてもありがたいです。
- ・モンシロチョウの卵から観察している話を聞くと、家ではなかなかさせてあげられない体験なので、とてもありがたいです。漢字学習もレベルが上がっていますが、根気強く教えて頂いているのがとてもよくわかります。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・畑や海のゴミについて実際に海に行ってみるなどの課外授業が楽しいようです。貴重な体験をたくさんさせてもらえて、嬉しいです。

- ・5年生になり会社設立をして、子供たちで考えて企画した地引網で捕れた魚を販売したことはとてもいい経験でした。総務部部長の大変さを話してくれ、親の会社での大変さを少しわかったようです。そして、地域の高齢者がどんたくで子供たちの大きな声に元気をもらったと喜んでいました。次の企画も応援していきたいと思います。
- ・学年が上がり、たまに学校へ行きたくないと朝話することがありますが、送り出すと帰りは笑顔で帰ってくることはばかりです。日々先生方や友達との生活が充実しているからだと思います。これからもよろしくお願い致します。
- ・毎朝の交通指導、挨拶活動ありがとうございます。恥ずかしがり屋で小さな挨拶しか出来なかった娘が自信を持ってはっきりと挨拶が出来るようになり嬉しく思っています。横断歩道の渡り方もしっかり左右を確認して手を挙げて渡れるようになりました。
- ・授業もとても楽しいようで、いつも嬉しそうに話してくれます。小学生になってから、言葉も前向きになり強くなったなぁと成長を感じるが増えました。しっかり見てもらっていると安心感があります。ありがとうございます。

課題

☆学校からのお知らせ・お便りについて

- ・コドモンだけでしか確認できない情報があるのは困ります。大事な伝達は紙で連絡して頂けると助かります
 - ・月の行事やにこにこ(その月に必要なものが記載してある号だけでも)、給食メニューだけでもよいので紙のプリントを配布してもらえると非常に助かります。
 - ・七塚小学校からのメールやPDFでのお知らせなど、どなたか毎回添削されているのでしょうか？間違いが多くよく訂正文が再送されてきます。七塚小学校は他校に比べメール配信が無駄に多く、訂正されることが多いため不信感があります。
- 紙媒体でのお便りを望む声がありますが、学校予算から捻出できる用紙代に限りがあるのが現状です。また、エコの観点から今後も電子媒体(コドモンやHP)での配信とさせていただきたいと考えていますが、どうしても紙媒体が必要な方は、連絡帳等でお知らせください。作成するお知らせ・お便りについては、間違えのないよう十分確認し、発行・配信していきます。

☆学校・地域での安全対策について

- ・車で登校させている家庭を見ることがありますが、特別な理由がなければ控えて欲しいです。息子もそれを真似したいと言ってきたことがあります。
- 登下校については、「七塚小のやくそく」で、歩いて登下校するよう明記してあり、学年当初に各学級で指導もしています。今後も引き続き指導していきますが、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。けがや体調不良等で、送り迎えが必要な場合は、送迎車の動線を守っていただき、公道や駐車場を利用するすべての人たちが安全で気持ちよく利用できるよう配慮ください。

☆温かい人間関係づくりについて

- ・お友達から「死ぬ」と言われたことがある、と子供から聞いたことがあります。とても些細なことから言われたそうなので、安易に使ってはいけない言葉の指導もしていただけたら助かります。
- 学校生活の中で、「温かい言葉づかい」や「友達のよいところ見付け」等を通して、児童同士の温かい人間関係づくりに取り組んでいます。教職員も児童一人一人を理解することを心掛け、児童のよさを見付けたり困り感に寄り添った指導を大切にしたりしています。ご家庭でも温かい言葉遣いができるよう、お子様に声掛けをお願いいたします。

☆学校設備について

- ・校舎は新しいのにプールの建て替えなどはされないのでしょうか？不具合もあるようですので来年からはきちんと整備されて利用できるようお願いしたいです。子供たちも楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願い致します。
- 設備の修繕・不具合については、その都度、市教育委員会へ連絡し対応していただいています。プールについては、現在調査中ですが、修繕していただけるよう働きかけて参ります。

貴重なご意見、ありがとうございました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。